



KOSHI NEWS

令和8年 春号

# あら き よ し ゆ き 荒木義行市長 5期目スタート



任期満了に伴う合志市長選挙が3月8日に告示され、現職の荒木義行市長のほか候補者がいなかったため無投票となりました。これを受け市選挙管理委員会は3月16日に選挙会を開き、荒木市長の当選を正式に決定。3月17日、市役所で当選証書が交付されました。

4月2日、荒木市長は5期目の任期初日を迎えて初登庁し、職員を前に「気持ちも新たに市民の負託に応えていきたい」と挨拶しました。

## 5期目の就任にあたって

日頃より市政にご理解とご協力をいただき、心から感謝いたします。このたび、市長として5期目の重責を担うこととなりました。改めてその責任の重さを深く受け止めています。

本市は、平成18年2月27日の合併から20年という節目を経過しました。この間、子育て支援の充実、教育環境の整備、企業誘致の推進、都市基盤の整備など、市民の皆さまとともに着実に歩みを進めてきました。とりわけ『健康都市こうし』の理念のもと、健康づくりをまちづくりの中心に据え、誰もがいきいきと暮らせる環境づくりに取り組んできたことは本市の大きな財産です。

これからの4年間は、この確かな歩みを礎に次の時代を見据えた『持続可能なまちづくり』をさらに前進させます。引き続き市民の皆さん一人一人の声に真摯に耳を傾け、対話を重ねながら市政運営に取り組んでいく覚悟です。今後とも変わらぬご理解とご協力をよろしく願います。

## 次の4年間の市政運営 『未来への5つのビジョン』

### ① 渋滞対策の推進

国、県と連携し中九州横断道路や主要道路の整備加速、御代志駅からの公共交通網の形成（BRTなど）で、市民の快適な移動環境を築きます。

### ② 産業振興と農地保全の両立

サイエンスパーク誘致と農地の調和を図り、スマート農業やアグリ研究などの先端産業と豊かな自然が共存するまちを目指します。

### ③ 計画的な都市整備

交通拠点整備の整備を計画的に行ない、産業・福祉・賑わいを創出し、多世代が交流できる都市空間を形成します。

### ④ 誰もが活躍できる地域づくり

防犯強化、健康増進、若者の定着支援で、市民が安心して暮らせるまちの活力を高めます。

### ⑤ 財政基盤の強化

健全な財政運営を堅持し、歳入確保と効率化を徹底。『稼げる市』として未来へ繋ぐ財政基盤強化を一層図ります。



<プロフィール>  
昭和33年生まれ  
警視庁警察官、国会議員秘書に従事。  
平成7年から熊本県議会議員（4期当選）を務め、平成22年市長就任。

# 企業版ふるさと納税



地方公共団体が行なう地方創生の取り組みを応援する『企業版ふるさと納税』。さまざまな事業を進めるための貴重な財源となっていて、寄附した企業には最大で寄附額の約9割の税額控除が受けられるメリットもあります。本市では寄附金を『合志市まち・ひと・しごと創生推進計画』の取り組みに活用しています。

令和7年度は、27社から計約3,180万円の寄附がありました。本市のまちづくりの取り組みに賛同してくださった企業を紹介します。



株式会社アスクメンテナンス  
(本社 熊本市南区)



協成設備工業株式会社  
(本社 熊本市東区)



株式会社コスギ不動産ホールディングス  
(本社 熊本市中央区)



新産住拓株式会社  
(本社 熊本市南区)



株式会社タウン開発  
(本社 熊本市中央区)



ネットヨタ熊本株式会社  
(本社 熊本市東区)

※次号以降でも紹介予定

## 企業版ふるさと納税を活用している『合志市まち・ひと・しごと創生推進計画』とは

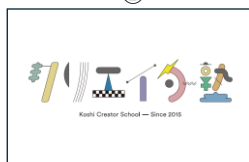
本市では、若年層の市外や県外への流出、雇用の場を創出する困難性、出生数の減少などの課題を抱えています。その解決のために次の目標を掲げています。

- ①付加価値創出型の地域産業をつくる
- ②本市への人の流れをつくる
- ③結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ④魅力的な地域をつくる

これらを実現するための取り組みの貴重な財源として、『企業版ふるさと納税』の寄附金を活用しています。

活用事例はこちら

①



③

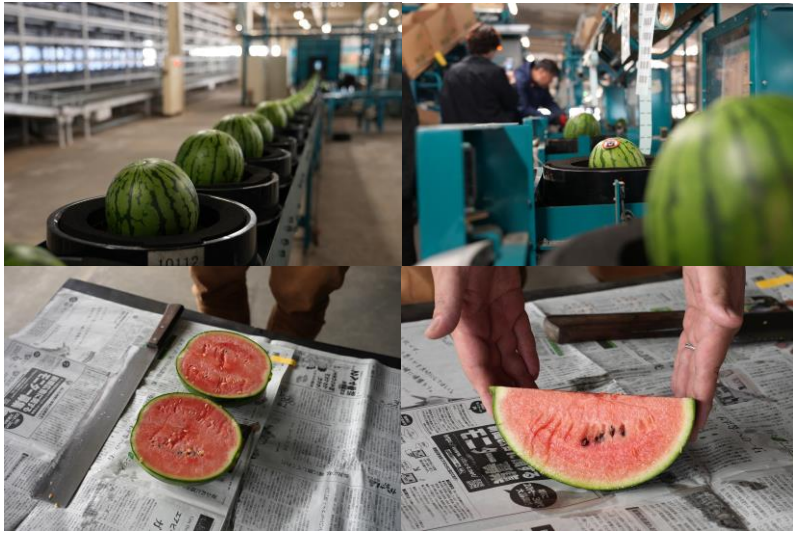


②



④





ここ数年で一番の出来

## 合志市の特産品 スイカの出荷

JA菊池管内で合志市の生産者が中心となって栽培しているスイカの出荷が4月にかけてピークを迎えました。2月24日には、糖度12度前後の小玉スイカ『ひとりじめ』が初出荷を迎え、JAのスイカ選果場で糖度の測定や大きさの選別などを経て、関東方面に送り出されました。今年は冬の寒暖差で、ここ数年で一番の出来だということです。

3月中旬には大玉スイカの出荷も始まりました。スイカの出荷は6月中旬まで続く見込みです。



地下水涵養の取り組みの一環

あめにわ

## 『合志市の雨庭』が完成

このほど、合志市総合センター『ヴィーブル』の正面玄関に『雨庭』が完成しました。本市が賛同する『熊本ウォーターポジティブ・アクション』の一環で整備したもので、降った雨を一時的に貯留し、ゆっくり地下に浸透させ、地下水涵養や洪水の抑制に繋げる効果があります。

この雨庭は県樹芸農業協同組合が県の助成を受けて実施する『緑化木需給安定対策事業』を活用し、同協同組合や県などさまざまな関係者の協力で完成しました。



詳しくは  
市ホームページを  
ご覧ください

出典「くまもと雨庭パートナーシップ」

知恵と工夫で課題を乗り越える

## 令和8年度スタート

4月1日、合志市役所では辞令交付や『令和8年度始め式』を行ないました。

式では、荒木市長が職員を前に「市民が安心して住み続けることのできる環境をつくるという原点を胸に刻み、目の前の課題に対し知恵と工夫で乗り越え、健幸都市こうしの実現に向けて取り組みましょう」と訓示しました。また、新規採用職員23人も出席し、緊張の面持ちで自己紹介をしました。





## 初々しい姿で学校生活をスタート 小学校で入学式

4月9日、合志市内の小学校では入学式が行なわれました。合志小学校では新1年生が元気良く入場し、名前を呼ばれると大きな声で返事をしていました。また、代表の児童が教科書を受け取るなど、小学校生活をスタートさせました。

なお、同日には、合志市内の中学校でも入学式が行なわれました。



## 社会人としての第一歩 新入社員合同研修会

4月10日、合志市と市商工会は『新入社員合同研修会』を開きました。研修会には、市内の企業6社の新入社員10人や、本市の新規採用職員18人が参加しました。

参加者は、社会人としての心構えについて聴講した後、来客や電話対応、名刺交換の仕方などのビジネスマナーの講習を受けて実際にやってみるなどして、社会人として身につけておくべき基礎について学びました。



## 多くの来場で賑わう たかば 伝統行事『竹迫初市』

4月11日、12日、合志市の竹迫地区で古くから続く伝統行事『竹迫初市』が、市総合センター『ヴィーブル』ふれあい緑地広場で開かれました。

2日間で約3,200人の来場があり、会場内の出店やステージの周りには多くの人で賑わっていました。初市と同時に開催された『昭和100年写真展』にも多くの来場がありました。



みよし  
御代志駅横



桜の丘  
(西合志第一小学校)



みよし  
妙泉寺公園



元気の森公園

# 華やかに咲き誇った 合志の



# 桜

合志市内の桜は4月に入って見ごろを迎えました。  
お花見スポットとして知られる御代志駅横や竹迫城跡公園を中心に多くの人が訪れていました。



福原グラウンド



みよし  
逢原工業団地



はんごまやま  
飯高山公園



たかば  
竹迫城跡公園

